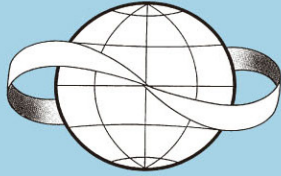


# ヴェーナス通信

Venous (静脈) Venus (護美の女神)



第63号

商標登録第4882482号

発行 東多摩再資源化事業協同組合  
 理事長 吉浦高志 編集長 紺野琢生  
 東京都東村山市久米川町1-16-18  
 TEL: 042-395-9788  
 FAX: 042-395-9787

## 資源循環社会の再構築を!

集団資源回収は、回収コストが安く、地域コミュニティの活性化につながる。今後ますます伸びが期待される資源回収システムである。一方、少子高齢化や、地域コミュニティの希薄化といった昨今の時代の流れの中で、団体構成員の減少、役員の担い手不足、回収量の減少など様々な課題も多い。回収方法も、以前の様な拠点型(住民が公園などに持ち寄り、軽トラなどで一か所に集積したものを回収業者が引き取る。)はあまり見られなくなり、小規模拠点方式やマンションの回収などが多くなっている。役員の立ち合いや手伝いも減っている。そのような中で、地域によっては、戸別収集方式を導入したり、高齢世帯への訪問収集を実施しているところもあるようだ。

団体の関与が減り、収集方法が集積所や戸別方式になれば、勿論回収業者の負担が増えるし、コストも余計にかかることになる。資源物の売り上げは相場変動の影響を受けるし、業者助成金も減額の傾向、一回当たりの回収量の減少もさらに追い打ちをかけている。また、大手問屋の参入も問題とな

って、大型マンションなど効率の良い団体だけを営業し、買値を一時的に吊り上げたりして地元業者を駆逐してしまう。大多数の小規模団体には手を出さず、採算が取れなければいつでも放棄する。地元回収業者のコストが安く抑えられているのは、地元の問屋、自治体や市民団体と協力して、地産地消を進めてきたからである。相場の変動に関わらず、小さな団体から大きなマンションまで長年地域のリサイクルの輪を支えてきたのは地域の輪であり、我々再資源化事業者の自助努力でもある。だから、地域のリサイクルの輪を維持するコミュニケーションと、適正な回収コスト、処理コストをしつかりと確保していくことが安定的かつ安価な集団資源回収システムを維持していくのに非常に重要であると考えられる。

集団資源回収だけではなく、回収システム全体の話になるが、もしも、一方的なコスト削減を迫られたなら、相場を無視した高値入札や、仕入れ競争が激化したら地域に根ざした資源循環システムはどうなるか。実はもう様々なひずみの事例が出てきている。前回号でも取り上げたが、パッカ一車による古紙(新聞・雑誌雑誌紙・段ボール)の混合収集は、分別排出した市民から疑念の声が上がっており、古紙の品質に重大な影響を及ぼす恐れがある。

足立区では、計量詐称による水増し請求が問題となった。相場が急落した際には、売り払い代価の不払いや入札不調も問題となった。何れも無謀な問屋間競争の結果であり、そのような問屋が毎回入札に参加しているのも不可思議だ。なくならない古紙持ち去り問題も持続可能な地域のリサイクルの輪を阻害し続けている。

そうは言っても、資源が減っていく中、昔の様な相場の暴落とか余剰化はあり得ないという声もある。しかし、近年海外から引き合いが好調だった中古衣料品が、ここに来て無理な未選別の込みボロの輸出で供給過剰状態になり、マレーシアの消費税やインドネシアの輸入禁止等の問題もあって7月あたりから相場が暴落している。中国でも低品質古紙は受入れない未選別の無理なリサイクルの推進は、いつか必ずしわ寄せが来る。東多摩再資源協会は、地域のリサイクルパートナーとして、地元の皆様と常にコミュニケーションを取りながら、低コストで安定した資源循環を大切にしている。(TKO)

リサイクル適性 (A)

## 直言拝聴

# 「横須賀市の集団回収活動について」

横須賀市資源回収協同組合  
理事長 藤田 和秀



### 行政との連携

集団資源回収奨励金制度は昭和五〇年横須賀市環境部（当時名）と神奈川県資源回収商業協同組合横須賀支部とで年間一、一七四、〇〇〇円で協定書を交わしたのが行政との連携の始まりでした。

当時、業界では法人組織の協同組合は神奈川県資源回収商業協同組合ではなく、横須賀市内の任意の組合ではなく行政が法人組織の組合を選んだことは当然のことだと思いが組合未加入の地域業者の反発やトラブルがあり昭和五四年に地域業者を交えて横須賀市資源回収協力を設立。昭和五八年にはチリ紙交換を主体にしている業者が横須賀市資源回収推進会を立ち上げ平成二年まで二団体で活動した。平成三年に行政の指導のもと二団体を統合、組合の前身である横須賀市資源回収促進会を立ち上げ、二年後の平成五年に法人組織の横須賀市資源回収協同組合を設立した。その時、中央会の指導は「問屋も含め大きな強い組織にした方がよい」と言われたが回収業者と問屋とは考え方の違いが大きいと判断し同じ考えをもつ回収業者だけの弱小組合を設立した事が将来的には大成功だったと思

っている。その間、奨励金は年単位から回数単位、数量単位と変化した。現行は数量単位で推移している。本当の意味での行政との連携は組合を設立した平成五年からで市のイベントや実施団体懇談会、出前トークなどを開催、行政と業者が同じ会場に出向き市民に説明する取組みを行っている。他市で行っている耳にした事はなく、「行政と業者が一緒に！」は横須賀市独自の取組みではないかと思っている。

### 集団資源回収と市民目線の対応

各市町村の回収業者と会談する機会がある。その中に必ず一人、二人は「我々はリサイクルのプロ」「リサイクルの担い手」と言う人がいる。何を持って言うのか理解に苦しむ。集団資源回収の搬出者は市民なのだ。その市民は回収業者をどのように見ているかだ。単に資源を集めている「おじさん、お兄さん」としか見ていないのが現実であり、誰も「プロとか担い手」とは思っていない。「プロ、担い手」という言葉は単に業者の自己満足にすぎない。

は異なることは当然のことだと思いが、集団資源回収の搬出者は市民であり、お得意様なのだ。製紙メーカー、古紙問屋、回収業者も回収してやっているとと言う上から目線的な考えではなく、回収させてもらっている気持ちで接することにより、循環型社会の構築が出来ると思われる。

### 安全・安心・安定のキーワード

集団資源回収は市民と密着した事業で、回収業者が市民に不快感を与えてはならない。それには安全・安心・安定のキーワードで取り組まなくてはならない。安全・安心は食品だけではなく回収業界も含む。

では回収業界の安全とは回収業者が市民から見ると安全な存在であること。例えば回収車両がスピードを出さない。騒音は出さない。啞えタバコで作業をしない。車の窓から物を投げない等市民に不快な思いをさせないことである。安心とは、出来る限り同地域には同じ作業員が回収に行き、顔なじみになり挨拶など声をかけ安心感を与えることである。但し逆に良くない評判も耳にすることがあり、ただ回収するのではなく緊張感を持って回収する。回収業者は市民

に三六〇度から見られていることを忘れてはならない。これが出来なければ市民から見ても回収業者も抜き取り業者も同じに写ることも忘れてはならない。

安全・安心に安定が加わる。安定とは価格が安くなっても必ず回収することである。平成十年から一三年頃にかけて古紙の市況が大暴落した。新聞、段ボールの単価が三円/kg雑誌に至っては逆有償であった。回収業者は実施団体に雑誌は回収しないと通知したり、「家庭内備蓄」をしてほしいとビラをだした市もあった。とんでもない話である。価格変動は搬出者の市民にとっては何も責任はなく市民は出したい時に出せば良いのである。価格変動の波は回収業者、古紙問屋、メーカーで止め市民にその波を与えてはならない。横須賀市ではその当時でも全量回収した。

### 再生資源業界

再生資源業界はどのような業界？まず「法律で保護されていない業種」である。誰でも車一台で今日から出来る業種であり、ゆえに「社会的に認知されていない業界」である。職業体験学習で中学生、延べ一〇〇人の生徒が集団資源回収を体験した。その生徒に必ず「

将来の職業は」を聞くが誰一人としてこの業種を選択する生徒はいない。すなわち社会的に認知されていない業種であるため、中学生の職業選択の対象にはなっていないのが現実である。

「法律で保護」は全国組織で国のテーブルに付かなければ実現しないし時間もかかる。しかし「社会的認知」は業者が努力することで実現が可能である。現場人間は口下手の人が多く話し方も決して上手くはないが、真剣に話すことにより市民に意思が十分に伝えられ、流暢な話し方よりも真実味があり信用される。身なりを含め誠実な対応を心掛けて行くことによりおのずと社会的に認知されてくるものである。

### 後継者・従業員の給料と奨励金

今年四月に当社の従業員が中古ではあるが一軒家を購入した。代表の私はとても嬉しい気持ちで一杯だった。その従業員の給料は年俸で手取り四八〇万円だ。その位の年俸を払わなければ家を購入することは出来ない。

組合員に従業員の給料を調査したところ、平均年俸は手取り三〇〇万円前後であり中には二四〇万円と言うのもいた。これでは家を

持つことどころか結婚も出来ない状況で良い人材が育つとも思えない。従業員は一生パート暮らしでいいのか事業主として考えていく必要があるのではないか。

横須賀市の奨励金は一〇円/kgである。他市からは「横須賀は良い、羨ましい」と言う声を聞く。私は決して奨励金は高い金額とは思っていない。市と奨励金の交渉も従業員からの入る。古紙の売り単価だけでは年俸四〇〇万円を出せる数字ではないので、不足分を奨励金で補って欲しいと要求する。それにはガラス張りです。それを作成し、かけ引きは一切しないことが大切である。私の計算した奨励金は一二円/kgだが市の査定は一〇円/kgで決定した。不足分は組合員の企業努力で補っていくことも大切だ。

### 二極化

発生量の落ち込む中、古紙問屋の入れに求め、自治体入札は競争激化による価格が高騰し、地域によつては古紙問屋が製紙メーカーを飛び越えて入札をしている。金属にしてもアルミ缶が日経新聞の価格表より五〇円/kgも高値で入札。我々回収業者には到底太刀

打ちできないのが現状である。

では、回収業者が集団資源回収で回収した古紙の価格はどうか、行政入札よりはるかに低い単価で取引している。企業に於いても同様に問屋が直接営業しその上、物流まで持ち直接回収をしている。

三〇年前は回収業者が回収して問屋へ搬入するシステムが出来ていた。システムを崩壊させたのは問屋であると思っている。横須賀市では「組合は奨励金を貰っているから高く買う事はない」と言う古紙問屋もいる。奨励金は古紙問屋から貰っている訳ではなく私の努力である。共存共栄が私の考えであるが古紙問屋がそのような考えが進めば組合員を守るためにも考えて行かなければならない。

### 横須賀市の集団資源回収

我々にとつて集団資源回収とは？

- ① 実施団体と日時を決めれば商品が出ています。
  - ② 仕入れがない
  - ③ 在庫がない
  - ④ 新規の営業もない
  - ⑤ 理想的な事業である
- 市民と密着した事業であり、お得意様の市民を大切に。

**第四三回日資連  
全国大会・札幌大会開催**

日本再生資源事業協同組合連合会・札幌大会が六月二十九日(月)、資源回収に携わる全国の組合が参加してホテル札幌ガーデンパレスで開催された。

大会第一部では、札幌市資源リサイクル事業協同組合 東龍夫理事長から歓迎の挨拶と今大会の開催にあたり、協力して頂いた関係各位に感謝の意が述べられ、開会が宣せられた。続いて日資連飯田俊夫会長が、「連合会の抱える問題は山積しているが、業界の発展と社会的な位置付けを確保し、江戸時代から続いてきた業界の灯を守るために一致団結して邁進しよう」との挨拶があった。ここで日資連協賛組合の表彰があり、我が東多摩再生資源化事業協同組合が感謝状を受賞した。



感謝状を受賞する  
小畑副理事長

多くのご来賓から挨拶及び祝辞を頂いたが、特に(公財)古紙再生促進センターの木村専務理事から、古紙市況と今後の課題について含蓄のあるお話しがあった。五月十六日に行われた通常総会報告、大会決議の宣言と続き最後に次回開催地が大阪と決定し第一部が終了した。

休憩のあと第二部が開かれた。第二部では記念講演として(株)日本総合研究所調査部主席研究員・(株)日本政策投資銀行地域企画部特別顧問・特定非営利活動Compu s地域支援ネットワーク理事長である藻谷浩介氏が(地域循環型社会を「里山資本主義」で創る)という演題で講演された。日本経済の現状を分析し、過疎化や高齢化、少子化というような問題を抱える各地方都市(里山)が、その地域の特性を生かした経済活動やコミニケーション・ネットワーク作りを行い活性化を図ること等、熱弁を奮われ感動した。

参考著書 「里山資本主義 日本経済は安心の原理で動く」  
第三部では、人口減少社会とこれからの集団資源回収(市民と地方自治体と業界の連携のあり方)をテーマとしたパネルディスカッションが開かれた。



受賞後、挨拶をする  
小畑副理事長

日資連青年部の紺野部長(当組合専務理事)がコーディネーターを務め、奈良県・東京都・横須賀市・千葉市・札幌市と各都市の地域組合の代表五人がパネラーとして参加し、資源回収・集団回収のそれぞれの組合の取り組みが報告された。

各地域の特色を生かした回収、またそれに対しての市民・自治体の対応(補助金・回収品目)が説明され、順調に回収事業が行われている組合、回収を持続していくにはまだ不十分で問題点がある組合などあり、大会に参加した全国の各組合のこれからの資源回収・集団回収に取り組んでいく上で、意義のあるパネルディスカッションと高い評価を頂いた。  
当組合としても、「地域に根ざしたりサイクルパートナー」になっ ていく上で市民・行政・業者の連携、協力が必要不可欠であり、改

めて完全な循環型社会の実現を目指す理想に邁進することを札幌全国大会に誓った。

トイレットペーパー  
**「フューメラン」**  
(65m巻き・100個入り)  
1ケース3,200円(消費税・配達料込み)です。  
※なお、配達には以下の地域に限定させていただきます。  
小平市・東村山市・清瀬市・東久留米市・西東京市・東大和市  
ご注文は当組合までお願いします。  
TEL : 042-395-9788  
FAX : 042-395-9787

# マイナンバー制度 研修会に参加して

去る平成二十七年五月二六日(火)午後四時十分より、東京・日暮里の「ホテルラングウッド」にて、

(公社) 東京都リサイクル事業協会主催で、「マイナンバー(個人番号・法人番号) 導入後の実務対応セミナー」が、開催された。講師は、税理士法人西川会計事務所・代表税理士西川豪康氏。マイナンバーは、平成二十七年十月より、各個人や法人に通知が開始され、平成二十八年一月より本格運用が開始される制度である。セミナーでは、番号制度が確立されるまでの歴史、番号制度の仕組み(導入の目的・通知対象・活用対象分野・利用方法等)、法人番号の仕組み、企業のマイナンバー管理方法等について、順を追って説明された。

## ●番号制度が確立に至る歴史

一九六八年の国民総背番号制度の発案に始まり、一九八〇年のグリーン制度(一度成立したが、その年のうちに廃案)を経て、近年の消えた年金問題(名前の違い等で把握できない)の発覚により、当該制度の確立が発案され、平成二五年五月に成立・公布された番

号関連四法等に基いて導入された。

## ●番号制度の仕組み

番号制度の導入目的  
①公平・公正な社会の実現、②国民の利便性の向上、③行政の効率化。

番号の通知対象

日本に住民票を有する個人に、平成二十七年十月より、各市町村長から十二桁の番号が記載された通知カードが送付されるそう。平成二十八年一月以降は、希望者に個人番号カードが発行可能とのこと(赤ちゃんの場合は、出生届提出と同時に通知される。)

番号活用対象分野

運用開始時の平成二十八年は、社会保障(年金)・税・災害救助等が対象だそう。平成二十八年中に雇用保険分野にも拡大される見込みだが、平成二十九年には、マイナンバー(情報提供等記録開示システム)の運用開始により、社会保険(健康保険・厚生年金)にまで適用されるらしい。また、平成三〇年には、銀行口座・医療機関・戸籍にも適用される見込みらしい。番号制度の利用方法  
通知カードの時点では、運転免許証・パスポート等の本人確認書類と共に利用することになるらしい。個人番号カードになった時は、

カードそのものを身分証明書として活用する他、個人番号を確認する場面(就職・転職・出産育児・病氣・年金受給・災害等)や、平成二十九年の個人の確定申告(平成二十八年分)で利用することになるそう。

## ●法人番号の仕組み

法人番号は、平成二十七年十月より、国税庁長官から十三桁の番号が、各企業に通知される。活用対象分野の制限はなく、自由に利用出来るため、企業間取引や、見積書・請求書・契約書・法定調書等に活用できるそう。また、法人番号は、国税庁のホームページに公表され、誰でも検索利用出来るようになっていくそう。

## ●企業のマイナンバー管理方法

企業は、平成二十八年一月の給与計算時(平成二十七年十二月の年末調整時に利用の場合あり)の活用に向けて、従業員に対し事前にマイナンバー制度について研修・周知し、平成二十七年十月以降個人番号を収集しなければならぬそう。その際、従業員の就業規則の服務規律の中にも、マイナンバー提出義務を定めることも一つの方法だとのこと。また、源泉徴収票の再発行にはマイナンバーは付記しない、退職した従業員のマイナ

ンバー廃棄は、給与台帳と併せて七年間保管の後廃棄することなども、管理義務として求められるらしい。更に通常のマイナンバー管理は、企業が毎日作成している業務日報や、専門ソフトによる電子管理の方法が望ましいそう。

## 【まとめ】

説明終了後、西川税理士は、「企業の個人番号関係事務に従事する者が、マイナンバーの活用方法を間違ったり、番号情報の漏洩等の違反を犯した場合は、最高四年以下の懲役か二〇〇万円以下の罰金が科されるなどの厳罰の対象になるので、企業担当者は、十分な責任を持って、法人や従業員等の番号管理を行ってほしい」と注意を促し、講演を締めくくった。

※今回紹介した「マイナンバー制度」については、五月二六日現在の情報であり、今後変更があるかもしれない。

※東多摩再資協でも、マイナンバー講習会を個別に開催する等、コンプライアンスの遵守に努めていきます。



講演する  
西川税理士

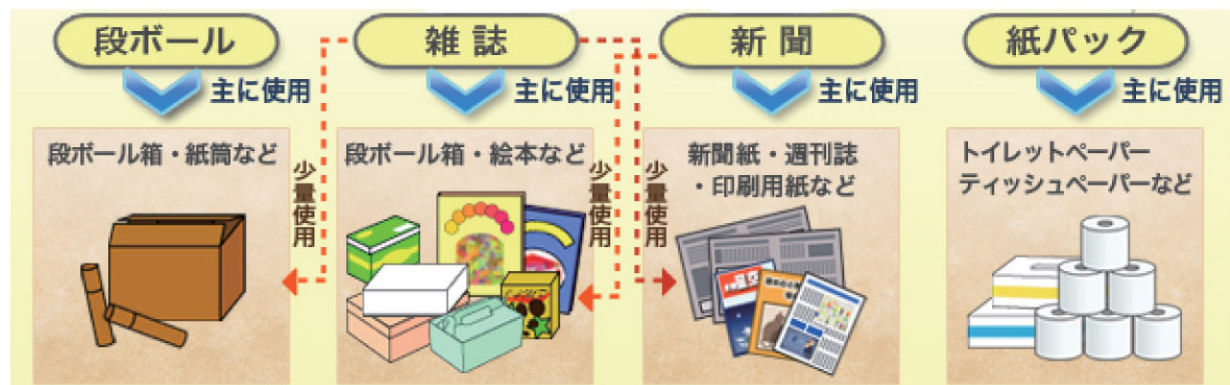
### リサイクル掲示板

## 古紙の分別にご協力ありがとうございます!

日頃は、古紙の分別排出にご協力ありがとうございます。大多数の皆様は、分別や出し方のルールを守って頂いておりますが、時々分別のルールが守られていない方がいらっしゃいます。日本のリサイクルシステムのコストが安く、品質が世界に誇れるのは、市民の皆様が分別意識の高さに支えられているといっても過言ではありません。改めて、古紙の分別について確認致しましょう。

### ①古紙は古紙でも大きく4品に分別されます。それぞれ、製紙原料としての用途が違います。

単に古紙と言っても、ご家庭から出る古紙は大きく4品に分別されます。古新聞、古雑誌（雑紙含む）、段ボール、牛乳パックです。主なリサイクル用途は以下の通りです。



このように、製紙原料としての用途が異なるため、それぞれ原料として使用する製紙メーカーも異なります。正しいリサイクルのためには、古紙をしっかりと分けなくてはなりません。

### ②新聞・雑誌（雑がみを含む）・段ボール・牛乳パックの4品にしっかり分別しましょう

当組合では、古紙を出す場合は基本的にはひもで縛って、小さな雑がみ類は紙袋に入れて出してくださいとお願いしております。他の古紙や古紙以外のものが混ざらないようにするためです。ですが、最近は、段ボール箱やビニール袋の中に段ボールや雑誌などを混ぜて出されたりするケースがよく見られます。現場で回収する際にも、ヤードで選別する際にも大変な苦勞をしますので、きちんと分けて、なるべくひもで縛って出すようにして下さい。

#### ※出し方の悪い例



- 段ボール箱の中に、新聞・雑誌・段ボールを混ぜて出している
- ビニールを剥さずに出している
- 禁忌品（臭い付きの箱、金紙）を分別しないで出している。

#### ※正しい出し方

品目	内容	まとめ方及び注意点
新聞	新聞紙 (※折込チラシは混ぜても大丈夫です。)	紙製の新聞整理袋に入れるか、紐をかけて出して下さい。 ※新聞・チラシ以外の紙を混ぜないで下さい。
雑誌・雑紙	単行本・週刊誌・雑紙類 (包装紙、はがき、封筒、お菓子などの空箱など)	紐で縛るか紙袋に入れて出して下さい。 ※禁忌品は混ぜないで下さい。
段ボール	中に波上の隙間のある紙製の箱	つぶして紐で縛って出して下さい。 ※ロウ引きや、銀がみ付き、油の付いたものは混ぜないで下さい。 ※ボール紙は雑紙に出して下さい。
紙パック	牛乳やジュースの紙パック	洗って開いて紙袋に入れるか紐で縛って出して下さい。 ※内側が茶色やアルミのものは混ぜないで別に束ねて下さい。

### ③禁忌品（リサイクル出来ないもの）は混ぜないようにしましょう。

古紙には、禁忌品といって、製紙原料としてリサイクル出来ない紙があります。以下の紙や、紙以外のもの（割りばし、木片、古布、プラスチック、金具など）は混ぜないようにしましょう。

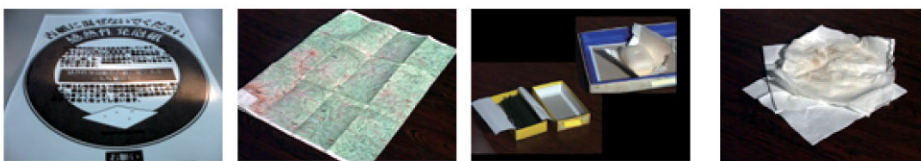
- 粘着物のついた封筒 ● 防水加工された紙 ● 裏カーボン紙、ノーカーボン紙 ● 圧着はがき ● 感熱紙



- 印画紙の写真、インクジェット写真プリント用紙、感光紙 ● プラスチックフィルムやアルミ箔等を貼り合わせた複合素材の紙 ● 金・銀などの金属が箔押しされた紙 ● 捺染紙(なっせんし) ※アイロンプリント紙



- 感熱性発泡紙 ● 合成紙 ● 臭いのついた紙 ● 水に濡れた紙、油のついた紙、使い終わったティッシュペーパーやタオルペーパー、食品残さなどで汚れた紙



※公財) 古紙再生促進センターホームページより一部引用しています。

<http://www.prpc.or.jp/>

如何でしたか？以上の分別はもちろんですが、出す時間、出す場所などルールを守って正しくリサイクルしましょう。

## 組合業務の安全・品質向上を目指して

### 運転者適性診断受講講座開催

七月二十九日・三十日、東山市商工会館にて出張運転適性診断を開催しました。本来は、運転者が認定を受けたところを受診しに行かなければならないところ、ヤマト・スタッフ・サプライ株式会社東京センターの出張サービスを活用しました。

運転者適性診断とは、トラックなどの自動車運送事業者における運転者を対象に、運転に関する長所や短所といった「運転のクセ」を様々な測定により検査し、それぞれのクセに応じたアドバイスを提供することで、交通事故防止に活用するものです。



今回は、新たに運転者として採用された人が受ける「初任診断」、任意で受講できる「一般診

断」、満六十五才対象「適齢診断」の三種の診断を行いました。

内容は、性格テスト・安全運転態度・危険感受性・処置判断・選択反応・速度見越反応・機械検査・視力測定を診断します。

評価の不高くない項目があっても、自分自身の特性であると認識し、注意をすることで、起こりやすい事故を未然に防げるわけです。反応速度が早いだけでは、運転に適しているわけではありません。スキルの高さは自信過剰につながります。歳を重ねれば動体視力も落ちるでしょう。定期的に運転者適性診断受講会を開催して安全運転の徹底を図ってまいります。



### 回収車両点検・整備講習会開催

八月六日、いすゞ自動車首都圏株式会社との御協力により、回収車両点検・整備講習会を開催しました。

実際に回収に使用している車両を使い点検をしました。工藤課長補佐より日常点検の必要性として、①法律で義務づけられている。②車両維持費の低減。③安全運行の社会的義務があげられ、路上故障の大半は日常点検で防げると説明がありました。

続いて金子課長補佐より、日常点検の実演がはじまりました。全体の観察(傾きがあればパンク、サスペンションの異常有り)から始まり、運転席、フロント、助手席と進みます。五感を使い異常を探ります。キャブを開け、エンジン内の点検へ。ファンベルトの摩耗・損傷、張り具合を点検。ベルトの中間部を約1kgの力で押します。(車型・年式によって異なります)ここで、体重計を指で押して押す力を体感してみました。親指で押して爪が白く変色するくらいが目安となります。タイヤ点検では、異常摩耗・亀裂、損傷・金属片等・異物の有無、残り溝の深さ、空気圧を。エンジンのかかり具合、

吹け上がり、アイドリングに耳を傾け、ブレーキのアソビ、踏みしるを確認。最後にホイール取り付け点検では、ホイールナットを実際に緩め、点検ハンマーで音を聴き比べてみました。締まっていると高い音が、緩んでいると鈍い音がします。講習会参加者全員で試してみました。講習が、正解率はあまりよくありませんでした。やはりトルクレンチを使用し確実に締めるようにします。

体の健康管理と同じで、日々の点検が大事です。大切に扱えば道具は人を裏切りません。これからも車両点検をしっかり行い、安全作業に繋がっていきたいと思います。



## 各市のイベントに 出展しました！

今年も、春～夏にかけて各市でリサイクルイベントが行われ、組合ブースを出展してまいりました。内容的には、昨年来、好評を頂いている小物雑貨類の回収、牛乳パックの回収、子供たちに大人気のリサイクル分別ゲームと分別に関する指導を行いました。今年からのぼりも作成し、ブースも少し華やかになりました。

集められた雑貨の流通については、次のページで紹介しておりますので、ご覧ください。こうして回収した雑貨類が、国内外で喜ばれ、大切にリユースされ、しかも地元のごみ減量にもつながっているということ、私たちもうれしく思っています。これからも積極的にPRしてリユースの拡大に努めてまいります。



## ～イベント初参加の感想～ 東大和市環境市民の 集いに参加して

去る六月七日（日）東大和市で行われた環境市民の集いに組合員として初めて参加させて頂きました。今回は、三十回という節目の年で、市役所中庭には市内の環境団体や学校、企業などから多くの出展があり、とても賑わっていて東大和市民の環境に対する意識の高さに感心しました。中央公民館ホールでは、市内の各小学校の児童が描いた環境ポスターが展示されて、児童の環境に対する考え方が様々で興味深く思いました。当組合のブースでは、衣類、ぬいぐるみ、玩具等の回収やスタンプラリー、選別ゲームをしました。選別ゲームは子供向けでしたので、次回は大人向けのゲームも考えて選別の重要性を訴えていかなければならないと思えました。午前中に比べて午後は、人影まばらな状況で残念でしたが市民の皆様と触れ合えた事はとても貴重な経験でした。

（J P 資源・栗原）

## 秋もリサイクルイベントのシーズン！

これからのシーズンもリサイクルイベントが開催されます。是非お出かけ下さい！

### ①小平市環境フェスティバル

平成27年9月12日（土）10時～15時 @

出展内容 ・小物雑貨類（育児用品、おもちゃ、ぬいぐるみ、かばん、靴、食器類）の回収  
・牛乳パック6枚とトイレトペーパー1個の交換  
・リサイクル分別ゲーム、古紙の分別に関する指導

### ②東村山市リサイクルフェア

平成27年10月18日（日）10時～13時 @東村山市役所

出展内容 ・小物雑貨類（育児用品、おもちゃ、ぬいぐるみ、かばん、靴、食器類）の回収  
・リサイクル分別ゲーム、古紙の分別に関する指導

### ③清瀬市民まつり

平成27年10月18日（日）10時～17時 @清瀬駅北口けやき通り

出展内容 ・トイレトペーパーブーメランの販売（有料ごみ袋のおまけつき）  
※売り切れ次第終了となります。



青年部が新規事業のトライアルで取り組んでいます

# イベントで集めた雑貨はどうなるの??

1 各市のイベントや、自治会のイベント、家のお片付け等で小物雑貨類を回収します。



壊れているもの、汚れのひどいもの、割れているものなどは回収できないため、対面で受け取ります。イベントでは、駄菓子などと交換しています。



大切に使ってくれていたおもちゃ・ぬいぐるみ



バッグや靴（左右揃っていればOK）



集まった食器類は、壊れないように整理して箱詰めします



4 海外へ



2 保管用のコンテナに一旦荷物を保管します。

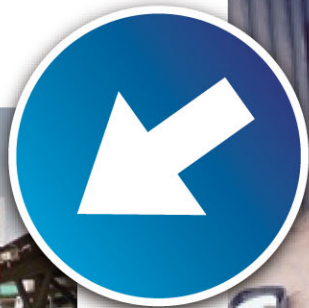


国内

3 国内流通可能なものは、提携先リサイクルショップで販売。



リサイクルショップ ウィッシュ 八王子市栢田町103



当組合では、リユース促進キャンペーンとして、昨年度より、各市のリサイクルイベントで小物雑貨類（おもちゃ、ぬいぐるみ、育児用品、食器類、かばん、靴など）の対面回収を行っています。これらの品物は回収後どのようなルートでリユースされているのでしょうか？一連の流れを紹介します。

海外

4 荷物がたまったら、家具類と一緒に輸出用のコンテナに積替えて出荷



5 コンテナ船にて海外に出荷します



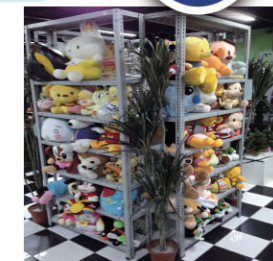
6 修理・洗浄



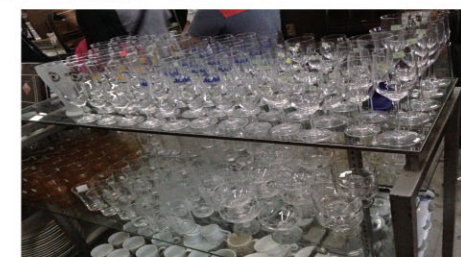
7 輸出先（タイやフィリピン）で荷下ろしし、現地のリサイクルショップで販売されます。



育児用品や子供用品を扱うショップにて



靴やかばんも



食器も人気があります。必ずしもセットで揃ってなくてもいいようです

日本からの中古品は、日本製じゃなくても品質が良く大変喜ばれています。イベント以外でも回収出来る組合員もおりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

### 豊岡事務局員が

### 退職しました

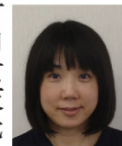


私事ですが、七月末日をもって退職することになりました。この仕事を通じて、リサイクルについてより深く理解する事ができました。例えば回収古紙に禁忌品を混ぜてはいけない事、悪質な持ち去り行為が横行し、資源循環システムを破壊している事は、この仕事を始めるまではあまり良く分かりませんでした。現在では常に意識するようにになりました。事務局員として回収作業員、リサイクルセンター作業委員の安全講習会の準備や共同受注検査の実施を通じ、現場の第一線で活躍される皆様のことを深く理解できたことは勿論、各市のリサイクル関係のイベント、リサイクル関連の講演会、地元中学生の職場体験学習への参加、リサイクルの現場の視察を通して、地域の皆様との資源リサイクルを通じた交流ができたことも大きな収穫であると思います。これから、日々の生活の中で組合が築き上げた資源循環システムが一層発展できる様に、私も引き続き心掛けて参ります。大変お世話になりました。ありがとうございます。

### ● 新事務局員

### 紹介

野村由貴枝氏



この度、組合事務局へ着任いたしました野村と申します。まだ一週間程ですが、皆様に温かく接して頂き良い職場だと実感し、採用して頂いたことに心より感謝しております。感謝の気持ちを忘れずに、一日でも早く皆様のお役に立てるよう精一杯頑張りたいと思っております。いろいろご指導いただき、これもあるかと存じますが、どうぞ宜しくお願いいたします。

### 行事・行動

#### 【平成二七年六月】

- 二日：小平市GPS調査
- 三日：東村山市RF実行委員会
- 五日：小平RC責任者会議  
：福利厚生委員会
- 七日：東大和市環境市民の集い
- 十一日：東村山市委託業務打合せ  
：定例理事会
- 十三日～十四日：東久留米市環境F
- 十六日：小平市「ごみ減量実行委員会
- 十九日：ペットボトル工場視察
- 二二日：財務委員会  
：業務委員会  
：受注検査委員会

- 二四日：東村山市戸別回収打合せ
- 二八日～三〇日：日資連札幌大会

### 編集後記

藤田理事長、直言拝聴のご寄稿ありがとうございます。札幌でのパネルディスカッションに引き続き、菌に衣着せぬ「意見」発言、冷や冷や致しましたが、組合員、従業員さんの生活をしっかりと守るため地域密着で取り組んでおられることに心から敬服いたします。

- 【七月】
  - 一日：小平市委託業務打合せ
  - 三日：小平RC責任者会議
  - 一〇日：財務委員会  
：定例理事会
  - 一三日：西東京市廃棄物減量審  
：東大和市環境RF反省会
  - 一五日：青年部会議
  - 一七日：共同受注検査
  - 一八日：RC納涼祭
  - 二〇日：共同受注検査
  - 二一日：共同受注検査  
：広報委員会
  - 二二日：共同受注検査
  - 二三日：西東京市受託業者会議
  - 二四日：小平市「Rきやらばん」
  - 二九日：運転適性診断講習会  
：東村山市業者連絡会  
：多摩市R協組一〇周年記念
  - 三〇日：運転適性診断講習会
  - 三一日：小平RC責任者会議  
：組合員家族慰安会
  - 【八月】
  - 五日：東村山市RF実行委員会
  - 六日：車両整備担当者講習会
  - 七日：小平市「ごみ減量実行委員会
  - 一日：定例理事会
  - 二〇日：広報委員会
  - 二四日：東村山市廃棄物減量審
  - 二六日：東村山市戸別回収打合せ
- 資源リサイクルで一番大事なことは、絶対に途切れない循環の輪を作っていくことだと思います。それには、行政、市民、回収業者、問屋業者、エンドユーザーとしてのメーカーまで含め、コミュニケーションを取りながら、WINWINの関係を作り上げていくことが肝要です。もしも、行政がコストカットだけを考えたなら、市民が利便性だけを求めたら、回収業者が増やすことだけ考えたなら、メーカーにリサイクルの最終処理の輪の中にいる意識がなかったら、果たしてどうなるでしょうか？持続可能な資源循環型社会を形成していくことは到底出来ません。
- 秋はリサイクルイベントのシーズンです。この機会に多くの方々とおふれあい、相場変動やニーズによって揺るがない大きな資源の輪を作ってまいります。(TKO)